

## 2023年の転職率は7.5%と依然として高水準が続く 転職して約4割が「年収が上がった」と回答 リスキリングの有無により、転職後の年収に約140万差が生じる

マイナビ、「転職動向調査 2024年版(2023年実績)」を発表

株式会社マイナビ(本社:東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員:土屋芳明)は、20~59歳の正社員を対象に実施した「転職動向調査 2024年版(2023年実績)」の結果を発表しました。

### TOPICS

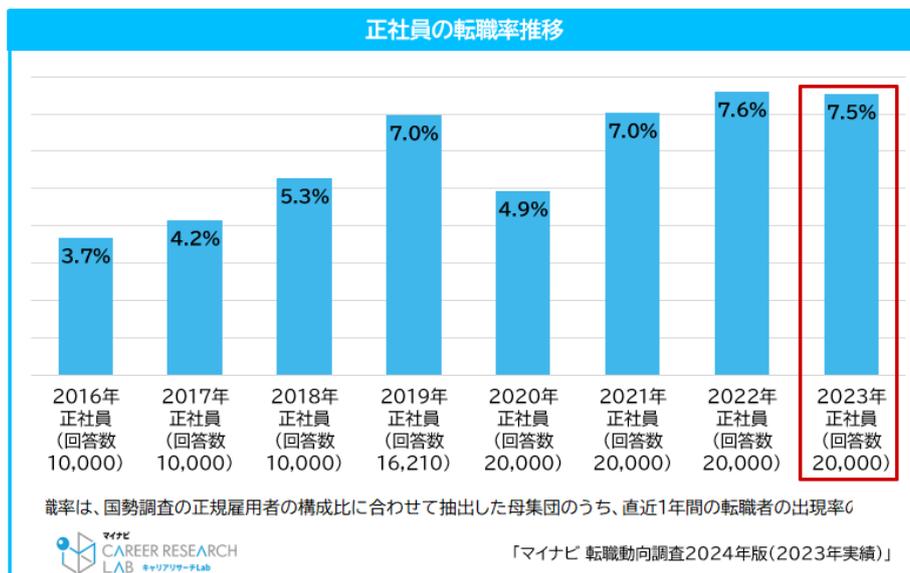
- ◆ 2023年の正社員の転職率は7.5%で過去最高水準が続く。転職者のうち、約半数は30~50代のミドル世代男性【図1、2】
- ◆ 転職理由は男性が「給与」、女性は「職場の人間関係」が最多。重視するポイントに男女で違いが出る結果に【図3】
- ◆ 約4割が転職して年収が上がったと回答。転職後の平均年収額は489.6万円で転職前の472.5万円から17.1万円増加【図4、5】
- ◆ リスキリング経験がある人の転職後の平均年収額は559.3万円。経験のない人は419.5万円で、139.8万円の差【図6】

### 【調査概要】

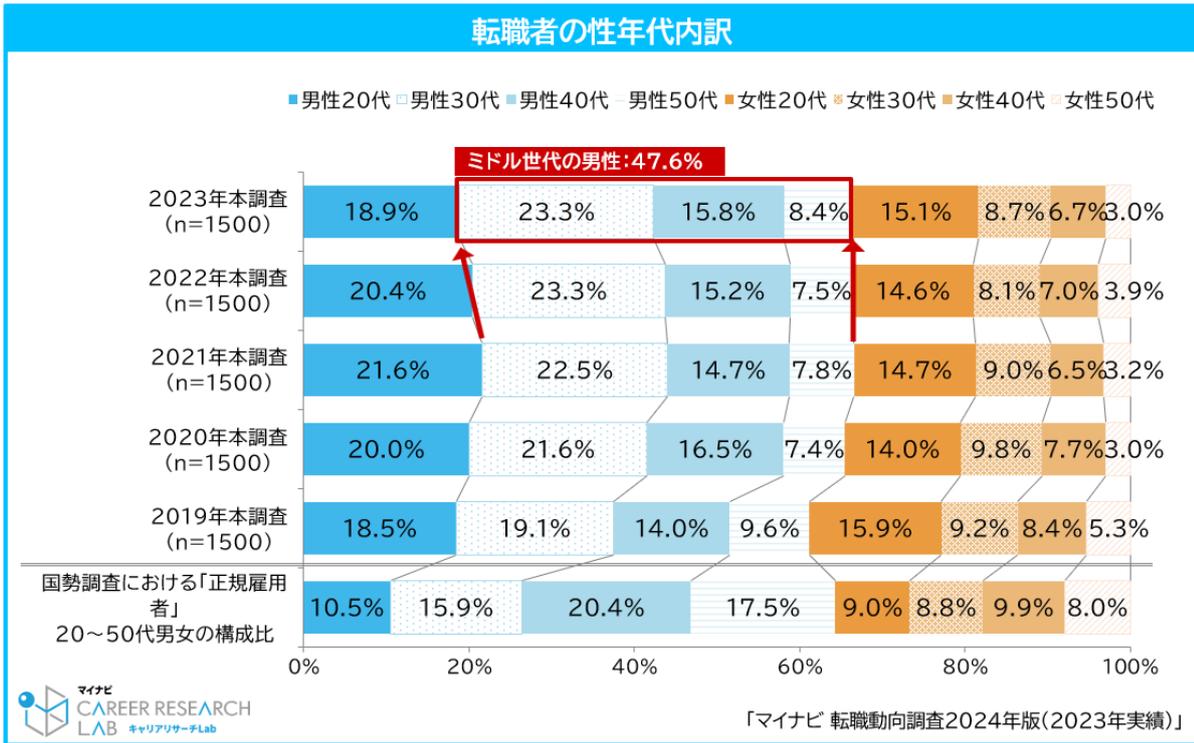
2023年の正社員の転職率は7.5%と高水準が続く  
転職者のうち、約半数は30~50代のミドル世代男性

2023年の正社員の転職率は7.5%(前年比0.1pt減)で、調査を開始した2016年から約2倍以上と高水準で推移している。性年代比率をみると、男性30代(23.3%)がもっとも多い。2021年以降、30~50代のミドル世代の男性が転職した比率が高まっており、2023年では、47.6%と約半数がミドル世代の男性だった。【図1、2】

【図1】



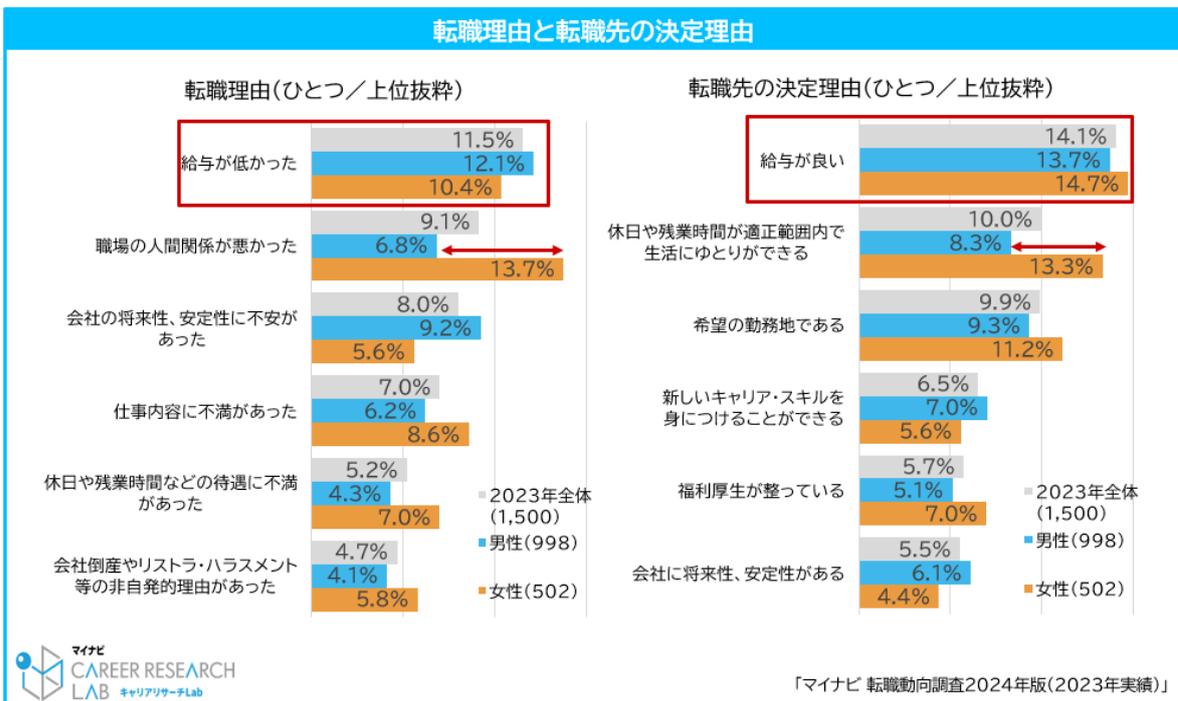
【図2】



### 転職理由は男性が「給与」、女性は「職場の人間関係」が最多 重要視するポイントに男女で違いが出る結果に

転職理由は前年から引き続き、全体では「給与が低かった」が11.5%で最多。男女別にみると、男性は「給与が低かった(12.1%)」、女性は「職場の人間関係が悪かった(13.7%)」がもっとも多かった。転職先を決めた理由では、全体と男女別ともに「給与が良い」が最多となったが、女性は「休日や残業時間が適正範囲内で生活にゆとりができる(13.3%)」「希望の勤務地である(11.2%)」も比較的高かった。女性は男性と比べ人間関係やプライベートとの両立を考えて転職活動を行う傾向があるようだ。【図3】

【図3】

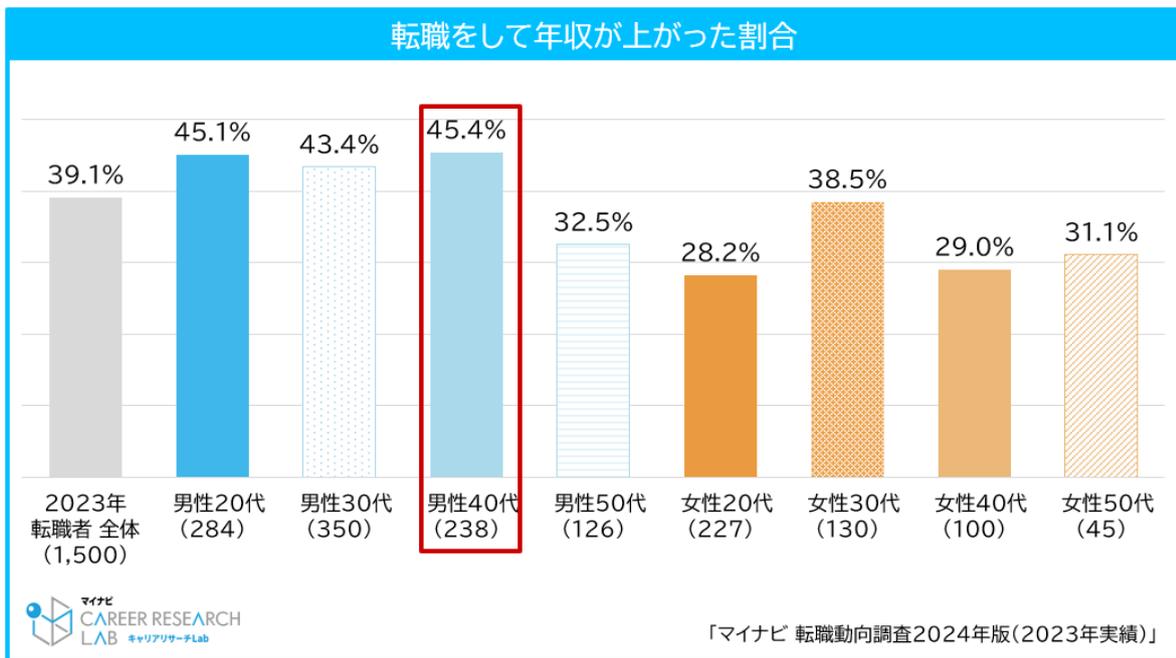


**約 4 割が転職して年収が上がったと回答**  
**転職後の平均年収額は 489.6 万円で転職前の 472.5 万円から平均 17.1 万円増**

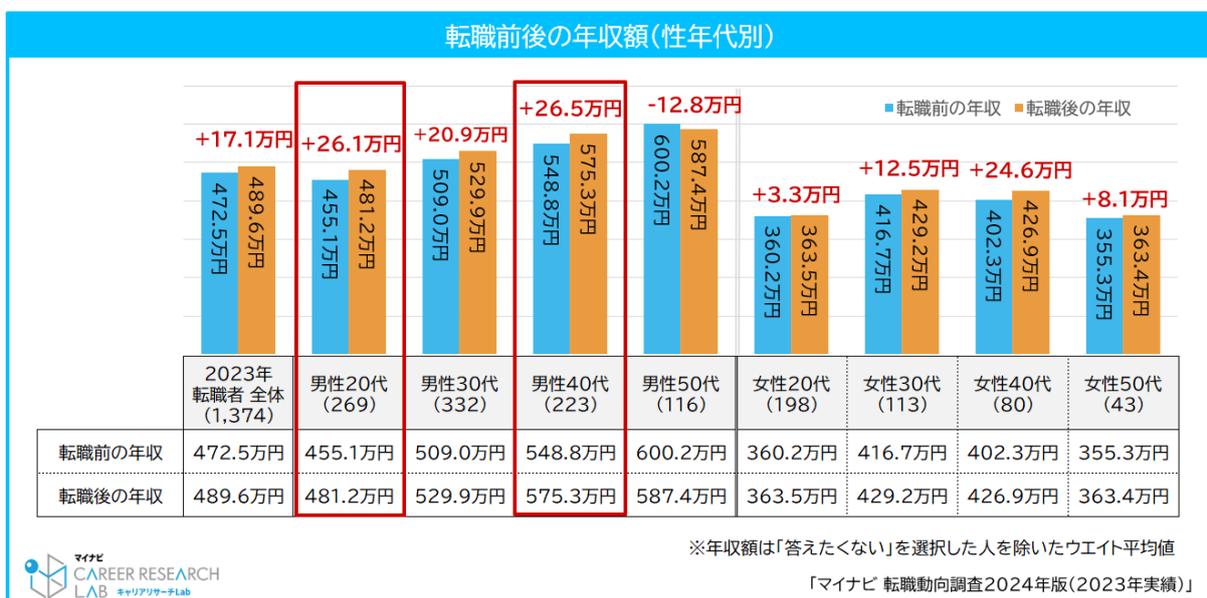
転職後、年収が上がった割合は 39.1% (前年比 0.4pt 減)。もっとも年収が上がったのは男性 40 代で、45.4%が転職によって年収が増加した。一方女性は男性に比べて年収が上がった割合が低い傾向にあり、転職理由と転職先決定理由でも給与以外の項目が目立った影響があると考えられる。

転職後の平均年収額をみると、489.6 万円となり、転職前の平均年収 472.5 万円より 17.1 万円増加した。転職後の差額が大きかった性年代は男性 40 代(+26.5 万円)と男性 20 代(+26.1 万円)。一方差額がもっとも低かった性年代は女性 20 代(+3.3 万円)だった。【図 4、5】

【図 4】



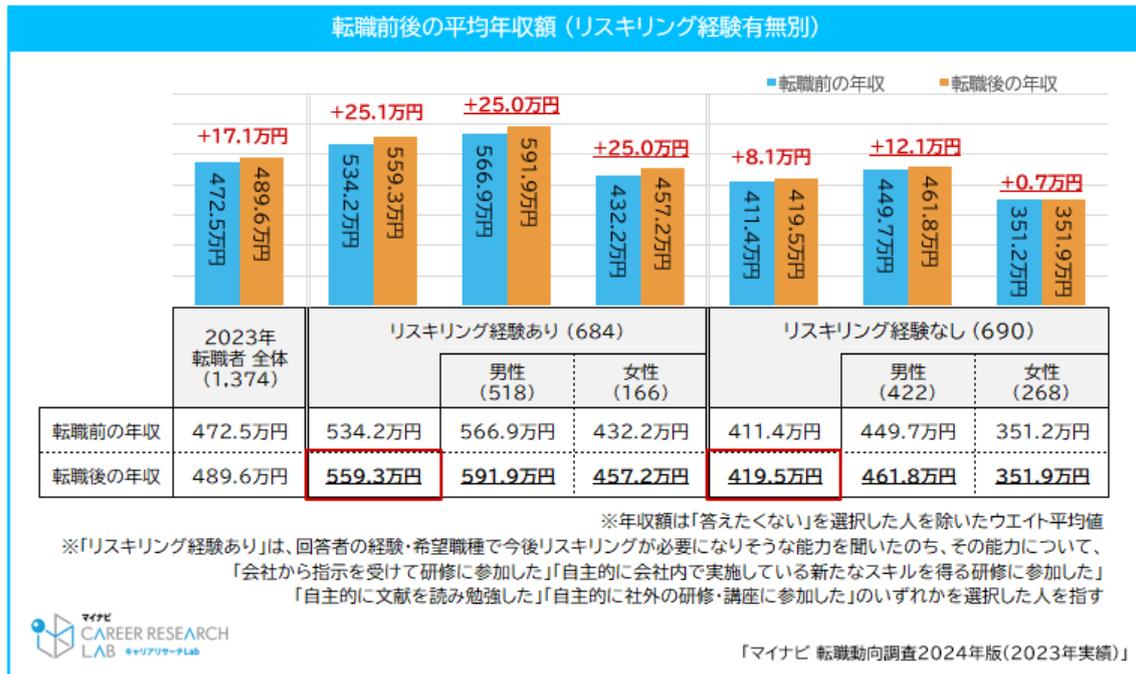
【図 5】



リスケリング経験がある人の転職後の平均年収額は 559.3 万円  
 経験なしの人は 419.5 万円で、139.8 万円の差

転職後の平均年収額をリスケリング有無別にみると、リスケリング経験がある人は 559.3 万円、経験がない人は 419.5 万円で、139.8 万円の差があった。男女別にみても、それぞれ 100 万円以上の大きな差がある。転職前後の年収差をリスケリング有無別にみると、リスケリング経験ありは+25.1 万円、経験なしは+8.1 万円と差がみられた。【図 6】

【図 6】



【調査担当者コメント】

2023年に転職をした人の約半数は30代～50代のミドル世代の男性となり、その比率は年々増加傾向にあります。人手不足が続く現在、即戦力となる人材が求められており、『マイナビ転職』に掲載中の求人初年度年収2023年平均は456.6万円と、調査開始以来増加傾向にあります※1。

今回の調査でも、年収が増加した割合がもっとも高かった性年代は男性40代でした。転職における年齢の壁は消失しつつあることがわかる結果となりました。しかし性別の差は、年収額自体にも転職前後の年収増加額にも表れており、格差がいまだに残る形となっています。男女における業種の差や職種の差、説明できない賃金差について、今後も調査を続けていきます。

※1:2023年総評「正社員の平均初年度年収推移レポート」と「正社員の求人件数・応募数推移レポート」

マイナビキャリアリサーチラボ 研究員 朝比奈 あかり

【調査概要】「転職動向調査 2024 年版(2023 年実績)」

○調査期間/スクリーニング調査:2023年12月13日(水)~12月15日(金)  
 本調査:12月15日(金)~12月18日(月)

○調査方法/インターネット調査  
 ○調査対象/20~59歳の正社員の男女  
 ○有効回答数/1,500件

※調査結果は、端数四捨五入の都合により合計が100%にならない場合があります。

※調査結果の詳細はこちら

([https://career-research.mynavi.jp/?post\\_type=research&p=71344](https://career-research.mynavi.jp/?post_type=research&p=71344))からご確認いただけます。

## 「働く」の明日を考える マイナビキャリアリサーチ Lab



『マイナビキャリアリサーチ Lab(ラボ)』は、雇用や労働に関連する様々な調査データやレポートを通じて、雇用の在り方や個人のキャリアを考える上で役立つ情報を提供するサイトです。蓄積してきた調査結果、新たに分析した雇用関連のレポート・コラム、市場データといった情報の提供を行い、組織と個人をつなぎ、社会全体でキャリアの在り方を考える一助を担います。

【お問い合わせ先】 株式会社マイナビ 社長室 広報部 鈴木 Email:[koho@mynavi.jp](mailto:koho@mynavi.jp)